平成18年度科学研究費補助金実績報告書(研究実績報告書)

1.	機関番	号	1 4 6 0 3	2.	研究機関名	奈良先端科学技術	大学院	 定大学
3.	研究種目	1 名	基盤研究(C)	4.	研究期間	平成17年度	\sim	平成19年度
5.	課題番	号	1 7 5 0 0 0 2 4					
6.	研究課是	夏 名	パターンに基づくソフトウェブ	アプロ	セスの計測と	分析		

7. 研究代表者

研究者		研究代表者名	所 属 部 局 名	職名	
	1 0 6	フリガナ イイダ, ハジム	桂超利受研究利	*/-\	
2 0 2 3 2	1 2 6	飯田,元	情報科字研究科	教授	

8. 研究分担者(所属研究機関名については、研究代表者の所属研究機関と異なる場合のみ記入すること。)

	研	究	者	番	号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職	名
						フリガナ			
Г						フリガナ			
		1 1							
Г		: :				フリガナ			
	-	<u> </u>		1 1					
						フリガナ			
	!	<u> </u>		1 1					
						フリガナ			
		! !	- 1						

9. 研究実績の概要(国立情報学研究所でデータベース化するため、600字~800字で記入。図、グラフ等は記載しないこと。)

本研究の目的は高品質なソフトウェアを効率よく開発するための基盤技術として,ソフトウェア開発における定量的管理プロセス最適化のための技術的フレームワークを確立することである.とくに近年アジャイル手法として注目を 集めている軽量型開発プロセスから従来の日本式重量型開発プロセスにまで幅広く対応可能な柔軟性を重視した設計 を行うことを方針としている.

平成19年度においては,昨年度の成果(実企業に向けての定量的プロセス管理の実態調査,プロセスの記述とパタ ーンの探索,記述)をさらに進め,パターンのライブラリ基盤を整備した.具体的内容は次のとおりである

- (1) 実開発現場から抽出した管理プロセス指標を元にその定義構造を分析・洗練することで,指標及びその基礎データ群のもつ単位系をモデル化した.
- (2) (1) のモデルを元に、プロジェクト毎の性質に応じて、管理の精度を調整することで、管理プロセスカスタマイズ (これをテーラリングと呼ぶ) を支援するシステムを試作した. このシステムにはユーザが標準プロセスに対して適用したテーラリングの内容を収集・記録する機能を含める. 実企業による試作したシステムの運用・評価については現在調整中.
- (3) (1)での成果を17年度より開発を進めているプロセス・パターン蓄積のためのシステム (パターンリポジトリとオーサリングツール) に反映させる作業を行った.

※ 成果の公表を見合わせる必要がある場合は、その理由及び差し控え期間等を記入した調書(A4判縦長横書1枚)を添付すること。

10. キーワード

(1)ソフトウェア工学	(2) ソフトウェアプロセス	(3) ブロセス・パターン
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(裏面に続く)

11. 研究発表(平成18年度の研究成果)

[雑誌論文] 計(4)件

著者名 名 論文標 題 Kazumasa Hikichi 他 An assistance indicator into software development process quantitative management quantitative indicator into software development process 3rd International (ProMAC2006) 予稿集 Ton Froject Management (ProMAC2006) Management (Promaccand) Project Management (Project Mana						
# 誌 名 巻・号 発行年 ページ International Conference on Project Management - 2 10 10 6 電子予算集	著 者 名		論	文 標	題	
indicator into software development process 雑 誌 名 巻・号 発行年 ページ 3 rd International Conference on Project Management	Kazumasa Hikichi 他	An assistance me	thod of	incorporation	ng quantitativ	e management
3rd International Conference on Project Management _ 2 0 0 6 雪子充填售	Kazamasa IIIKICIII E	indicator into softwa	are develo	opment proce	ess	
The characteristic contribute on troject management	雑誌	名		巻・号	発 行 年	ページ
	o international conference	on Project Man	agement	_	2 0 0 6	電子予稿集

著 者 名		論	文 標	題	
Kazumasa Hikichi 他	A Software Pro Management Plan		ring Syster	m Focusing t	to Quantitative
雑誌	名		巻・号	発 行 年	ページ
7th International Conference on Process Improvement (Profes2006)		Software	-	2 0 0 6	441-446

著 者 名	論	文	題	
伏田 享平 他	定量的測定データの体系化 案	こ基づいた開発	^ど プロセステー	ーラリング方式の提
雑	名	巻・号	発 行 年	ページ
ソフトウェアエンジニアリングミ (SES2006) 予稿集	ンポジウム 2006	_	2 0 0	6 51–58

著 者 名	論	文 標	題	
伏田 享平 他	定量的管理を取り入れたソフ	トウェア開発	計画立案支援シ	ステムの提案
雑誌	名	巻・号	発 行 年	ページ
ソフトウェア信頼性ワークショップ 予稿集	第三回研究会(FORCE2006)	-	2 0 0 6	27-36

著	者	名			論	文	標	題	
		雑	誌	名		巻・号	-	発行年	ページ
								; ; ;	
								1 1 1	

著	者	名			論	文	標 題	
							1	1
		雑	誌	名		巻・号	発 行 年	ページ
							1 ! ! !	
							1 ; ; ;	

[図書]計(0)件

	ēl '	(0) 1	Τ							
著	者	名			出	版	社			
			書	名				発 行	年	総ページ数
								1 1		
								; ;	;	

12. 研究成果による工業所有権の出願・取得状況

計 (0) 件

工業所有権の名称	発明者	権利者	工業所有権の種類、	番号	出願年月日	取得年月日